

福祉はぐくみ企業年金基金 第5期決算及び業務概況について

第5期：2022年4月1日～2023年3月31日

当基金の第5期決算が、2023年7月25日に開催された第12回代議員会において審議のうえ承認されましたので、お知らせします。

1. 事業の概況

(1) 業務概況

実施事業所数	1,109事業所
加入者数	37,486人
平均給与月額 (平均掛金月額)	19,626円

(2) 給付状況

(金額単位：百万円)

給付の種類		件数	金額
老齢給付	年金	0	0
	一時金	0	0
脱退一時金		3,862	1,237.7
遺族給付金		10	4.7
一時金繰下げ件数		680	

(3) 掛金徴収状況

(金額単位：百万円)

	納付決定額	納付済額	未納額
標準掛金	8,039.4	7,281.6	757.8
事務費掛金	161.3	146.4	14.9

※未納額は、掛金額決定から納付完了まで1ヶ月超かかる仕組みにより発生します。
2023年3月時点の未納額は、5月に納付済となっています。

2. 業務経理

基金を運営するための経費を処理する経理です。

(1) 貸借対照表

(金額単位：百万円)

資産勘定		負債勘定	
流動資産	43.6	流動資産	37.9
—		剰余金	5.7
計	43.6	計	43.6

(2) 損益計算書

(金額単位：百万円)

費用勘定		収益勘定	
事務費	13.1	掛金収入	150.6
業務委託費	137.0		
その他支出	0.5	当年度不足金	0.0
計	150.6	計	150.6

3.年金経理

掛金の受け入れ、一時金給付に関する取引を処理する経理です。

(1)貸借対照表

(金額単位:百万円)

資産勘定		負債勘定	
総資産額	16,683.0	未払移換金	1.5
不足金	72.9	責任準備金	16,754.4
計	16,755.9	計	16,755.9

(2)損益計算書

(金額単位:百万円)

費用勘定		収益勘定	
給付費等	1,286.9	掛金等収入	7,533.8
運用報酬等	30.4		
業務委託費等	0.2		
運用損失	143.0	運用収益	73.6
責任準備金増加額	6,246.8	当年度不足金	99.9
計	7,707.3	計	7,707.3

4.財政検証

決算期ごとに年金資産の積立状況について、2つの方法(継続基準、非継続基準)により、年金財政の健全性を検証しています。

- 2つの基準とも基準値(1.0以上)をクリアしており、財政状況は健全です。

継続基準

将来の給付のために保有しておくべき年金資産(責任準備金)が、計画通りに積み立てられているかを検証します。

$$\frac{\text{純資産額 (16,682百万円) (*)}}{\text{責任準備金 (16,754百万円)}} = 0.99$$

$$\frac{\text{純資産額 (16,682百万円) (*)} + \text{許容繰越不足金 (2,513百万円)}}{\text{責任準備金 (16,754百万円)}} = 1.14 \geq 1.0$$

非継続基準

現時点で基金が解散したと仮定した場合、加入者・受給(権)者への加入期間に応じた給付に必要な資産(最低積立基準額)を保有しているかを検証します。

$$\frac{\text{純資産額 (16,682百万円) (*)}}{\text{最低積立基準額 (14,774百万円)}} = 1.12 \geq 1.0$$

(*) 財政検証における純資産額は、貸借対照表の純資産額から未払移換金を控除した金額になります。

5.運用基本方針と資産運用状況

(1)運用の基本方針

目的

加入者及び加入者であった者に規約に規定する年金給付及び一時金たる給付の支払いを将来にわたり確実にを行うため、安全かつ効率的な資産運用を旨とし、必要とされる総合収益を長期的に確保することを運用の目的としています。

運用目標

将来にわたって健全な年金制度を維持するに足りるだけの収益率として年金財政上の予定利率を確保するよう努めるとともに、運用資産ごとの市場収益率およびベンチマークを資産構成比に応じて組合せた収益率を長期的に上回ることを運用目標としています。

資産構成

資産配分決定にあたっては、当基金の運用目標を達成する上でリスクを最小化するように、投資対象の種類等について分散投資に努めます。

※詳細は、「年金資産運用に関する基本方針」および「運用管理規程」をご確認下さい

(2)資産運用状況

2022年度における当基金の年金資産運用の利回りは**-0.81%**となりました。これを主因に、年金経理における当年度の不足金は、99.9百万円となっております。(前期から繰越された剰余金と相殺した後の不足金は、72.9百万円になります)

今後も市場の動向を注視しつつ、適切なリスク管理の下、安全かつ効率的な運用と収益の確保に努めてまいります。

委託先別運用結果

資産運用は3社の生命保険会社と2社の信託銀行に委託しています。

(2022年4月1日～2023年3月31日)

委託先		期末資産額 (除く未納額)	同左の シェア	修正総合利回り (手数料控除後)	
生命保険 会社	第一生命	一般勘定	2,004百万円	13%	-3.34%
	富国生命	一般勘定	4,712百万円	31%	1.31%
		特別勘定	4,281百万円	28%	0.00%
	日本生命	一般勘定	859百万円	6%	0.50%
	明治安田生命 (期中解約分)	—	0円	—	-5.56%
信託銀行	三井住友 信託銀行	年金信託	2,062百万円	14%	-0.25%
		年金特定信託	244百万円	2%	-0.17%
	みずほ信託銀行	年金信託	1,076百万円	7%	1.67%
合計			15,238百万円	100%	-0.81%

※修正総合利回り…年金資産の運用における時価ベースの利回り

※端数処理により合計額等が合わない場合があります